

くらしの輪

第42号

2024年(令和6)3月発行
勝山市消費者団体連絡協議会
事務局
勝山市元町1-1-1
市民課・勝山市消費者センター
TEL(0779)88-8103



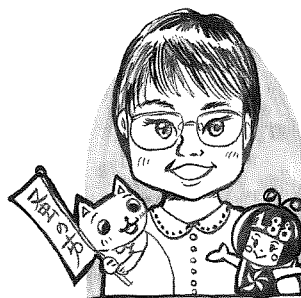
ご挨拶

会長 山場 眞理子

日頃から当団体の活動にご参加とご協力をいただきまして厚く御礼申し上げます。

能登半島地震で被害に遭われました方々にお見舞い申し上げます。そして、お亡くなりになられた方にお悔み申し上げます。

報道される映像に現実を見せつけられ、「家族を守るために何をしておかなければならないか」「何ができるのか」「もっとやれたことがあったのではないか」今一度、家族とみなさまと話し合わなければ、と思う日々です。



東日本大震災後、私たちはかきこい消費者育成として防災についての勉強会、福井市防災センターの見学・体験、非常用持ち出し袋の準備、非常食の試作・試食などの「備え」について啓発して参りました。今テレビで出ている段ボールベッドも実際に寝てみました。さらに地域の方々と連帯していかなければなりません。

昭和23年、今から75年前に福井地震がありました。これらのことを忘れずに命を守り、安心安全なまちを守っていきましょう。

今を一生懸命、まじめに生きていくことがますます大切な時代になっていくと思います。みなさんががんばりましょう。

見守り 新鮮情報

震災に便乗した 悪質商法に注意

事例1 見た目では自宅に被害はないが、訪問してきた工事業者に「このままでは危ない。すぐに工事が必要だ」と言われた。

事例2 「保険金を使えばタダで住宅修理ができる」と言われたが本当か。

事例3 市役所を名乗り、義援金を集めると訪問されたが信用できるか。



©Kurosaki Gen

ひとこと助言

- 地震等の災害が起こると、その際の混乱や被災者を支援したいという気持ちにつけ込んだ便乗商法と疑われる相談が寄せられます。今後、トラブルが広がる可能性がありますので、注意が必要です。
- 住宅修理等の勧誘をされてもその場ですぐに契約せず、複数の事業者から見積もりを取ったり、周囲に相談したりした上で慎重に契約しましょう。頼んでもいないのに押し付けてきて、しつこく勧誘する事業者には特に注意してください。
- 「保険金が集まる」と言われてもその場ですぐに契約せず、加入先の保険会社や保険代理店に相談してください。
- 公的機関が、電話や訪問等で義援金を求めることはありません。募っている団体等の活動状況や使途をよく確認しましょう。
- 困ったときは、お住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください(消費者ホットライン188)。



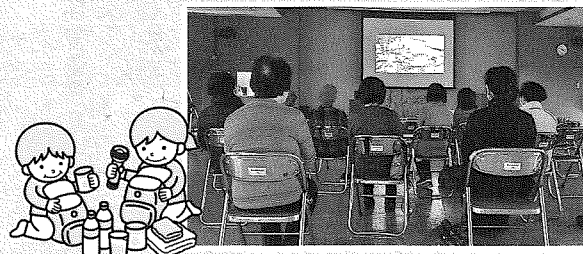
本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第472号(2024年1月16日)発行：独立行政法人国民生活センター

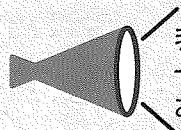
くらしと防災展

2/24 教育会館ホールにて

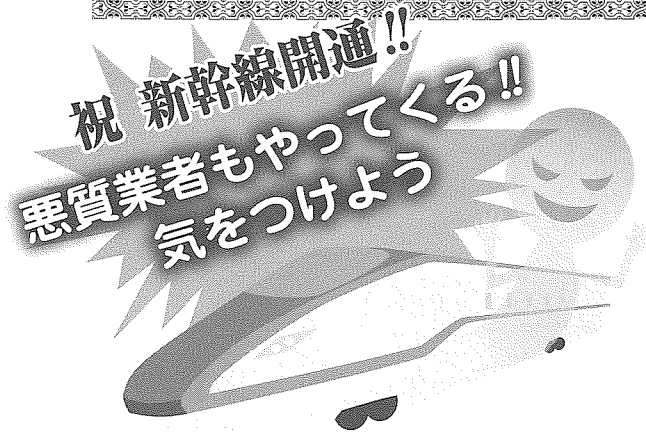
◆震災ドキュメンタリー映画
「灯り続けた街の明かり」上映



◆非常食の試食
◆非常用持ち出し袋の点検 など

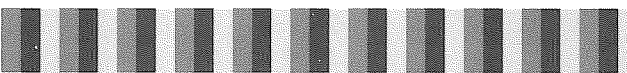


非常用持ち出し袋はつくりましたか？
一つあると安心ですよ！
お家にあるものでつくってみましょう！



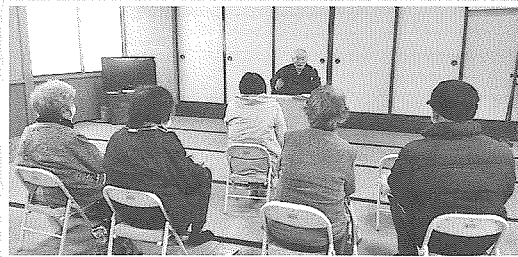
勝山市消費者センターに寄せられる相談は毎年約300件。

- ◎化粧品や健康食品が次々を届く定期購入トラブル
- ◎インターネットショッピングトラブル
- ◎訪問買い取り ……など



落語でよびかけ お金の大切さを楽しく

芳野亭笑扇氏



- ◆11月9日 遅羽地区 嶗崎朋友サロンにて
- ◆11月20日 北郷地区 上森川サロンにて
- ◆12月25日 荒土地区 別所サロンにて
- ◆3月20日 荒土地区 荒土町老人クラブ連合会 総会にて(予定)

家計簿をつけましょう。
勝山市消費者センター 〈88-8103〉

家計簿
無料進呈

寸劇でよびかけ!!

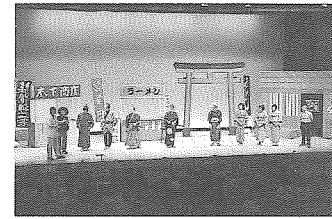
令和5年度のくらしの一座「だまされたらアカン!!」

くらしの一座 久保 恵美子

4年振りの活動も少しずつ戻って来て、くらしの一座も今年は忙しかったです。

悪質商法から消費者を守るため、頑張りましたよ!

R5.
4月16日 吉本新喜劇との夢の共演 200名



4月28日 平泉寺町赤尾ふれあいサロン 25名
5月27日 福井県消費者フォーラム 200名
(AOSSA 県民ホール8階)
(元消費者庁長官 阿南 久氏より、お褒めの言葉をいただきました)



5月28日 野向町龍谷 白山神社境内 80名
7月4日 さわやか大学(教育会館~さわやか大学の学生に啓発!!) 130名
8月31日 元町3丁目ふれあいサロン 20名
9月23日 市消費者まつり 52名
11月9日 労金友の会 文化講演 70名
11月10日 福井県消費者教育担い手講座 ゲスト出演 40名
(AOSSA6階)

R6.
2月29日 市高齢者連合会ふれあい祭り 300名



計1,117名に啓発しました!

蚤の市は人にも地球にもやさしい活動です

FREE FLEA MARKET

2023年4~2月までの減量したごみの量は...

約6トン

軽自動車 9台分!!!

やる物を持ち込みした人は 615人

持込数(概算): 20点/人
持込総数: 12,300点
ごみ減量数値(概算): 500g/点
衣類や家具、日用品などもあります、1点500と換算すると12,300点×500g=6,150,000g→6.15t→(軽自動車約9台分)になります

蚤の市へお越しください!

市広報で毎月お知らせしています蚤の市、利用されていますか?
毎回盛況で、会場にはたくさんの方々がいらっ
しゃっています。福井に住むインド、中国、フィリ
ピン、ベトナムの方々も利用され、大変喜ばれてい
ます。

・蚤の市の利用はゆずるのも、もらうのも全て無料です。
・「ゆずる人」は受付で氏名、連絡先とゆずる商品名を
書いて、受付票を必ず受け取ってください。
・引き取られなかった商品はもってかえっていただくと
が原則ですが、成功率は約80%です。
・洋服、着物、食器、おもちゃ、本、日用品の他、今年度
は各学校のご協力により制服や学用品が300点以上集まり、
ほぼ全て引き取られました。
・捨てる前に、ゆずりましょう。
「断捨離」「リデュース」「リユース」として、ぜひ蚤の市をご利用ください。

阿部 照伸

制服・学用品リサイクル

市内学校様のご協力により、310点の制服と学用品がリサイクルされました。

「もったいない」を
次世代に!

阿部 照伸

貸し出し
可能です！塩分計・しおみくんを使って
調べていただきました日常の食事でどれだけ
塩分をとっているの？

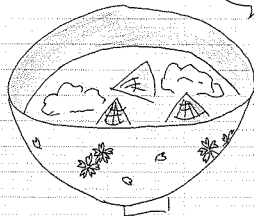
M様

だだみのみそ汁
(タラの白子)

2024.1.26(金)

豚汁

2024.1.28(日)

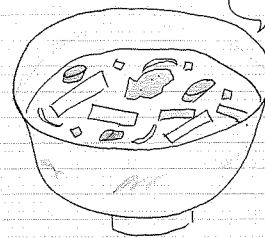


0.8%

・だだみ(タラの白子)
・大根・みそ
(だし) かつおぶし
いぼし、打豆

□□□□□
0.4~0.7 0.8~

昨日のみそ汁を再利用。
水を増やし、だだみと
みそを温かくして作り
直し。昨日より塩分↑



0.8%

・豚肉・大根
・人参・ごぼう
・玉ねぎ・ねぎ
(だし) かつおぶし
いぼし、おし昆布

□□□□□
0.4~0.7 0.8~

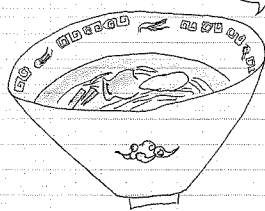
具たくさんな豚汁で、野菜
の味がよくでて、おい
くできた。

冷凍中華そば

2024.1.27(土)

豆腐と油あげとわかめのみそ汁

2024.1.30(火)

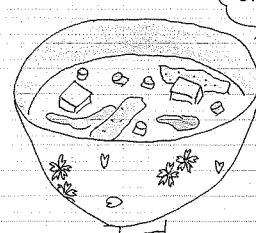


1.2%

・市販の冷凍中華そば
(めん、なると、焼豚、
メンマ、
スープ(しょうゆベース)

□□□□□
0.4~0.7 0.8~1.1 1.2~

市販のものを作り方どおり
作ったが、やはり塩分が
濃いことがわかった。汁
を飲むのは、控えた方が
良さそうだ。



0.4%

・絹豆腐・油あげ
・わかめ・ねぎ

(だし) かつおぶし
いぼし、打豆

□□□□□
0.4~0.7

だしを沸かしてよくだし、
うす味でできた。

【28種類を測ってみてわかったこと】

1. みそ(調味料)は少しずつ入れる。
2. 味見をしっかりする。
3. みそは種類によって塩分が違うので量を調節する。
4. 塩分が濃くなってしまったら、汁は飲み干さない。
5. 市販のインスタント食品は塩分が多いので気をつける。
6. だしをしっかりとれば、塩分が薄くてもおいしくできる。(味噌は自家製、I製、N社の3種を使いました。)

～28種類の記録をご覧になりたいかた、「しおみくん」を使ってみたいかたは消費者センターにご連絡ください～

M様、
ありがとう
ございました。

令和5年度(2023)

勝山市消費者団体連絡協議会理事名簿

役職	団体名	氏名
会長	個人	山場真理子
副会長	個人	清水津美子
会計	個人	笠松富士美
書記	勝山地区	嶋田幸子
監事	個人	多田睦子
理事	平泉寺地区	木船和美
理事	村岡地区	川原朋子
理事	荒土地区	本多範行
理事	鹿谷地区	山内紀美子
理事	北郷地区	松村喜代美
理事	遅羽地区	齋藤ひと美
理事	野向地区	椿山信子
理事	猪野瀬地区	加藤恵子
理事	団体	くらしの一座 (久保恵美子)
顧問	顧問	本多尚美

他 個人会員 14名

能登半島地震で被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。福井でも経験したことのない揺れを感じ、オロオロしましたところ、テレビからの緊急地震速報で我に返りました。石川県七尾市に帰省途中だった娘夫婦と孫三人のことを思い出しました。能登里山街道は海沿いの高速道路で逃げ道がありません。すぐにスマホで連絡をとり、「津波がくる！離れて！逃げて！」と叫びました。彼らは押し寄せ、避難しました。ハラハラしながら一目散に羽咋市で降り、役所で避難しましたが、食べ物などはなく、自身のお菓子や津波避難者に分けながら食べたそうです。大津波警報が津波警報に変わった深夜に下道で勝山に帰ってきました。その後、ある新聞記事が目にとまりました。津波と地震で甚大な被害を受けたある地区(40世帯90人、概ね高齢者世帯)が、5分以内に高台に避難して、全員無事だったそうです。これは奇跡ではなく、日頃の訓練のたまものと書かれていました。地震大国の我が国では、日頃から防災の意識を持ち、避難訓練に参加することが大切だと心から感じます。我が家の防災対策をまとめた、まず是非常用持ち出し袋のご準備からはじめ



目頃から防災意識を高めましょう

副会長 清水津美子